

### 全国まちづくりフォーラム in 奥大井

日本上流文化圏特別会議2007

# 奥大井宣言

かつて人は水の湧き出るところに住み始め、人も自然の一部という謙虚さで自然とともに生き続けてきました。しかし次第に農を始めとした産業技術の進展とともに、人は上流から中流へ、そして下流へと移り住み、上流の生み出す資源やエネルギーを大量に消費するようになり、その結果、自然環境は著しく破壊され、今では地球の存続さえ危ぶまれる状況となりました。

同時に上流圏では、人材の流出・少子高齢化が進み、情報技術の高度化とともに、地域での人間関係も希薄となり、コミュニティ社会の維持も難しくなっております。

しかし、この上流圏の歴史や文化、環境や暮らしなど、貴重な資源とその価値がひろく見直されはじめ、様々な困難に直面しながらも、その再生への動きも活発になってきています。

私たちは、上流圏の水の文化、森の文化を誇るにふさわしいここ静岡県川根本町において、全国まちづくりフォーラム in 奥大井を開催しました。

そして上流圏だけでなく下流圏の都市からの視点、さらに世界や日本の社会動向をも視野に入れ、これからの上流圏の存在理念と果たすべき役割、そしてその方法論を議論し、大きな収穫を得ることができました。私たちは、全国からここに集まった知恵と力を、可能な限り実践に活かして発信を続け、これからの日本の上流圏の活力づくりにつなげていくことを誓って、ここに奥大井宣言をいたします。

平成19年9月9日

全国まちづくりフォーラム in 奥大井実行委員会

まちづくりフォーラム参加者が3日間で感じたこと・考えたこと

#### ● 県外の方たち：

・このフォーラムで勉強したことを持ち帰り、筋の通ったまちづくりを進められるよう努力したい。

・千年の学校という企画に非常に感銘を受けました。ここに集まった方たちが同じ志を持って各地で取り組みを起これば、日本を元気にしていけるのではないかと思います。

・同じ気持ちを持った方たちとたくさんのお話ができて、元気をもらいました。

#### ● 県内の方たち：

・地域の良さや魅力を未来へつなげていく「力」を感じました。上流圏とは「日本の原風景」がある地域ということだと思います。

・人口が減って過疎・高齢化がうちでも進んでいます。でもこの状況を否定したりあきらめたり悲観してはならないという確固たる気持ちをもりました。

・人間一人の力は小さい。上流圏だけ頑張っても難しい。この場で上流から下流まで集まって意見を出し考えることは将来に向けて尊いことと感じました。

・人にとって山並みを抜ける風、川のせせらぎなど必要なものと思う。尊いもの・誇れるものを守っていくのが上流圏。この財産を大切にしていきたい。

・資源はたくさんあることは認識した。今後はどう活かすか、消費者に訴えるか、考えていきたい。

・地域の個性が必要といわれているが、では、個性って何だ。何を指すのか。自分の町には気づかないことも、他地域との交流で見えてくることもある。こういった交流が新しい個性を生むのかもしれない。

・大井川の水の色、来るたびに違う。山々の表情、一週間ごとに違う。ここに住んでいると分からないこと。ここに通っているからこそ気づく私たちが、周りの人に伝えていきたい。

・これだけ元気ある川根地域。すごい活力を内在していると思う。

#### ● 地元の方たち：

・全国からの皆さんの話を聞いて元気をもらいました。もっとひろくPRする必要を感じています。

・今、地域の伝統芸能は非常に厳しく、見るたびさみしい気持ちにさせられる。このフォーラムで高まった気持ちも、家に帰ると現実に戻ってしまう。ここにいらっしゃる皆さんには、どうか「厳しい現実」があるということを考えながら、これから取り組んでいっていただきたい。

